

2021年9月1日

九州支部加盟団体 各位

全日本合唱連盟九州支部
支部長 樋口 久子

九州支部加盟団体の皆様、お元気でいらっしゃいますか？

新型コロナウイルス感染の勢いは増すばかりで、ついに九州8県中7県に緊急事態・蔓延防止の措置が発令されました。またお盆には大雨による災害もありました。被害に遭われた地域の皆様にはお見舞い申し上げます。この先も感染に関しては見通しが立たないことに不安が募る日々です。

さて、昨年度から今年度にかけて九州支部の行事は全て中止し、ついに先日、おかあさんコーラス九州支部大会に続き、九州合唱コンクールの全部門の生演奏による審査を断念しました。開催地である福岡（中・高・大職一般）と沖縄（小）が緊急事態宣言下にあり、ホールがクローズされ、対面での開催は不可能になりました。

華やかなステージとその祝祭性は音楽の大きな魅力です。みんなで立つはずの舞台を夢見て、ガイドラインを守りながら何とか練習を重ねてきた皆さんの夢を摘むことに心が痛みました。しかし、何にも増してまず優先されるべきは、歌い手一人ひとりのかけがえのない命を守ることです。練習の中にも感染の危険は潜んでいることも考慮し、今回は県大会の録音による審査としました。会場の空気を通して聴こえてくる生の歌声との違い、九州大会より一カ月以上も前の録音であること、会場や実施日の違いがあること等、県大会の録音による審査は歌い手の皆さんや指導者の皆さんにとって不本意なことと思います。いつも応援してくださる皆様に生のハーモニーをお届けできないことも残念です。しかし、現状を冷静に受け止め、生演奏による審査を行わないことも積極的な選択と判断いたしました。幸い審査の先生方には全員お集まりいただき、成績評価だけでなくすべての団体に講評もさせていただきます。皆さんの活動を支えるアドバイスも得られるはずです。

私たち、合唱を愛する仲間同士の交流さえ奪ってしまう新型コロナウイルスに心が折れそうになりますが、皆さんの生の歌声が多くの人たちに希望や勇気を与えられる日は必ずきます。その時は、盛大に皆さんとハーモニーによる交流をしましょう。それまではかけがえのない命を大切にどうぞ気を付けてお過ごしください。皆さんの健康を心よりお祈りいたします。